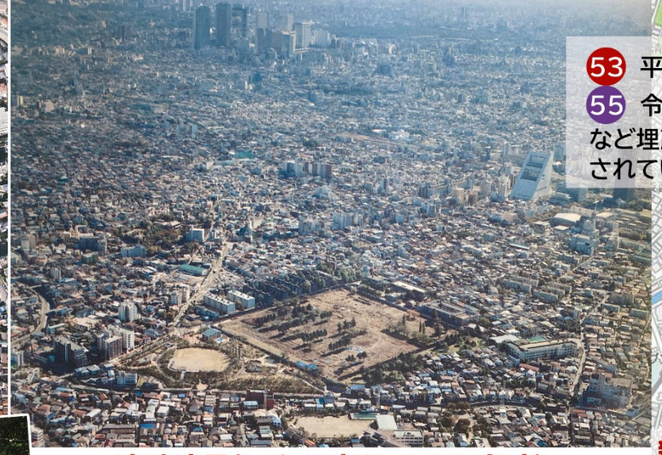
あらいのまちの遺跡

あらいのまちに遺跡があった！
昭和57年から58年にかけての発掘調査にかかわった新井地域の方々と中野区立歴史民俗資料館　前館長　比田井克仁さんにお越しいただき、当時の発掘の様子や遺跡のことについてお話していただきました。

なぜ、遺跡があることがわかったの？

昭和38年、旧中野刑務所の構内で掘った穴から、弥生時代の住居址と土器などが発見されました。このため、この付近には土中に眠った集落の存在が予想され、埋蔵文化財包蔵地として指定されました。

刑務所が廃庁となり、跡地が公園や下水処理場として整備される前に、発掘調査を実施しました。調査の結果、弥生時代を中心に縄文時代と古墳時代の住居址や多数の土器などが出土しました。



遺跡遠景（平和の森公園開園当時）

新井地域の埋蔵文化財包蔵地図
（中野区HPより）

竪穴式住居

昭和60年に部分的に開園した平和の森公園には、復元された弥生時代の竪穴式住居が建てられていました。公園事務所には出土した土器も展示していました。（令和2年の公園再整備の時に撤去されました。）

公園になぜ竪穴式住居があるのか？と思った方々も多かったようですが、ここに遺跡がある、ということの証でもあったのではないでしょうか。

矢島和行さん

調査団はお酒好き？

矢島　当時私は大学生で、同じ大学の方々が発掘調査に来ていたんです。家が酒屋で、よくお酒を配達していたこともあり、発掘の人手が足りないと誘われ、アルバイトで参加しました。調査団の方々はお酒好きでしたね。晴れの日は現場で発掘、雨の日は掘れないから、みんなでジグソーパズルみたいに土器の復元作業をやっていました。

刑務所の建物の基礎が残った状態で発見された竪穴式住居群（昭和59年-63年調査）

発掘の様子（昭和58年1月）

どんな遺跡なの？

比田井　新井の遺跡からは、縄文、弥生、古墳とそれぞれの時代のものが発掘されていますが、一番でてきたのは弥生時代のもの。今から約 1900 年前の人達が住居跡をのこしています。発見されただけでも 270 軒くらい、野球場（現在の多目的広場）の下、周辺の民家の下は掘ってないので、おそらくもっとあると思われます。これだけの規模の集落の遺跡は都内でも稀なものです。

比田井克仁さん

地域の人でも発掘に参加できるの？

比田井　昔は地域の方々に発掘に参加していただく、ということはありましたが、今は労災やお金の管理などの問題で難しくなってしまいました。また、昔は重機を使わず手掘り中心でしたが、今はコンクリートで固められた場所を掘ることが多く、重機が必要となり、根こそぎ掘ります。土だから手で掘れた、だから刑務所の十字房の基礎もきれいに残せたのです。

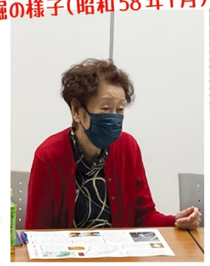
掘ったら終わり？

比田井　遺跡は掘ったら終わり、と言われています。掘ることは壊すことにもなるんですね。遺跡を保護する、ということはそのまま何もしないことでもあり…矛盾するような話ですが、調査をしました、ということは、全体はわかりましたけれど遺跡はなくなっちゃいました…ということなんです。

接合おばさん!?

津江　私は区民の枠で事務局員として加わりました。晴れでも雨でも私はずっと土器の復元（笑）写真のようにほぼ完成した形で掘り出されるものもありましたが、ほとんどは欠片の状態でした。セメダインを使って接着、足りない部分は石膏を使って埋める…接合おばさんって呼ばれてましたね。とても楽しい日々で、ここの発掘が終わっても違う現場で発掘を手伝いました。

今から40年前のあらい地域ニュースでも当時の発掘調査のことが取り上げられています。



津江恵子さん

新井 地域ニュース
No.28（昭和58年）
2/1
発行　中野区新井地域センター
中野区新井二丁目3番13号
☎（388）1411（代）〒165
書代にふれた!!
（島崎保・特集小学生版）
野方小　六年　津江　崇弥
（島崎保・特集小学生版）

津江さんの息子さん（当時小6）が書いた記事

縄文土器づくり

田中　当時、仕事柄ひとり親家庭当事者組織の事務局の役割を担っていた私は、子ども達の夏休みの宿題に縄文土器作りをしたいと、発掘責任者で中野区埋蔵文化財学芸員だった瀧澤さんに相談したところ、気持ちよく講師を引き受けてくださいました。縄文時代の生活、土器の文様の意味等の講義と土器作り。粘土が乾くまで地域センター（当時）で保管してもらい、一週間後新井薬師公園で野焼きを体験したことは懐かしい思い出です。

田中玲子さん

発掘された土器

細い器は、お湯を沸かすもの。その横のラッパのような形の器は底が抜けていて、蒸し器の役割…蒸すとおいしく食べられる（玄米を茹でて食べてもあまりおいしくない＝弥生時代までは茹でるだけだった）かまどの中で使う器なので、壊れにくい。

復元された弥生式土器

もっともっと詳しいお話を…

謎は謎を呼び、真相を想像するだけでも楽しい？　遺跡にまつわる興味深い話はまだまだたくさんあります。運営委員会では、地域事業として今回お話を伺った比田井さんの講演会を企画しています。お楽しみに！

伊藤勝昭さん
（編集委員）

伊藤　40年前の出来事だとすると、もう皆さんの記憶から消されているかも知れませんね。大集落が忽然と消えた謎など、知りたいことは山ほどあります。それらを紐解くことは、我が街新井を知り、繋ぐことになると思います。講演会が楽しみです。